

最適な
"非対称"が
機能を引き出す!



脳卒中・整形外科リハの 新しい動作戦略

～左右対称を追わない、実践的アプローチの極意～

全2回

会 場:インターネット生中継セミナー

対 象:PT・OT・ST・看護師(左記以外でも受講可)

受講料:各1回 会員9,800円(税込) 一般12,800円(税込)

見逃し受講期間2週間あり
永久保存版PDFスライド付

さらに 2講座セットで申し込み
2,000円クーポン
プレゼント

今 会員になる
年会費4,900円が無料
実質7,900円割引

左右差を消そうとして、 患者さんを苦しめていませんか？

「左右差をなくすこと」がリハビリのゴールだと思っていませんか？脳卒中なら麻痺側と非麻痺側、整形なら術側と非術側を比べがちですが、人の身体は本来“非対称”を使って効率と安定性を生み出しています。無理な対称化は代償や痛み、悪化を招くことも…。本講座では、脳卒中・整形の両領域を扱う講師陣が、非対称をどう評価し、どこまで許容し、どこを修正するかを実践的に解説。歩行・立ち上がり・上肢動作など具体場面で“最適な非対称”を活かす戦略もも徹底解説。常識を超え、生活で使える動作と一緒に探ししましょう。

対称を追わず、最適な非対称を目指す スペシャルプログラム

脳卒中編

2026年
5/23(土)
10:00～16:00



講師 谷内 幸喜 先生(城西国際大学)

- 歩容だけじゃない！
非対称動作の本当の意味を読み解く
- 転倒リスクに迫る！非対称歩行と安定性のリンク
転倒率のデータから考える臨床の優先順位
- 歩行非対称性をどう測る？評価ツール徹底活用術
ANPT推奨コアアウトカムセットの実践ポイント
- 対称を目指す？非対称を活かす？アプローチの分かれ道
歩行能力改善のための優先順位づけの実際
- 患者とともに選ぶ“最適解”
目標設定と意思決定支援を取り入れた理学療法



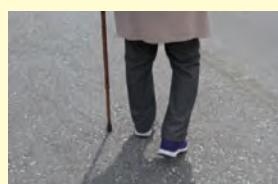
運動器編

2026年
6/21(日)
10:00～16:00



講師:井原 拓哉 先生(東京科学大学)

- 運動器疾患にみられる非対称歩行の基本パターン
～変形性股関節症を中心に～
- 保存療法における最適な非対称戦略
～初期の変形でどこまで代償動作を許容すべきか～
- 非対称動作がもたらすリスクと進行因子
～拘縮・隣接関節障害進展のメカニズム～
- THA・TKA術後に求められる「対称性」獲得
～長期的メリットからみた動作再建法～
- 体幹・骨盤のコントロールを鍛える運動療法
～非対称から対称へ移行させる実践～ ほか



※上記各1講座受講で離床アドバイザー理論1単位、更新10ポイントを取得できます。

受講
方法

ホームページよりオンライン登録
日本離床学会

検索

お問い合わせ
お申込先



臨床を元気に!
日本離床学会

講 座
コード
X-173

